



## メンテナンス 清掃の仕方

常に快適にご利用いただくために、使用頻度や環境により定期的に清掃を行ってください。

SDシステムは、清掃するときに工具特に工具を必要としません。分解するためのネジは、手で回すことが出来るネジを使用していますので、いつでも簡単にメンテナンスをすることが出来ます。

ポリプロピレン(PP)は、一般的な洗剤や普通の洗浄液で洗浄することができます。ポリプロピレン(PP)およびPETGは90℃以上の温度にさらすことができませんので、オートクレーブによる滅菌はできません。

### 1. フードやノズル

#### ●日常的な清掃の場合

一般的な洗剤や洗浄剤などで洗浄してください。

#### ●徹底的に洗浄する場合

ポリプロピレン(PP)およびPETGのフードを90℃以上の温度にさらさないでください。

フードは通常の洗浄液を使って拭いて洗浄してください。

### 2. 関節部とダンパー

#### ●日常的な清掃の場合

ダンパー付きジョイントは、洗剤などの一般的な洗浄剤で洗ってください。時々、関節部のフィンガースクリューを緩め、ネジ式のステーを引き抜き、2つに分かれる関節部分を分解して清掃をお勧めします。それにより、下述の方法でOリングを清掃することができます。

#### ●徹底的に洗浄する場合

ダンパー付き関節部を完全に分解する事が出来ます。洗浄後は、必ず関節部を元のように正しく組み立て、アームに正しく装着してください。関節部の5mmのフィンガースクリューに小さなワッシャーを付けることが非常に重要です。関節部をアームに取り付ける際は、小ネジを前方に向け(作業者に向くように)、ダンパーの操作部が右側に来るようにしてください。ダンパー付き接続部の取り付け方向を間違えると、ダンパーの気密性が損なわれます。

### 3. O-リング

O-リングはポリエチレン(PE)製で、メンテナンスフリーです。O-リングが油や脂肪にさらされていると、O-リングと接触面の摩擦が減少し、アームが作業位置を保持できなくなります。

このような環境では、Oリングを頻繁に洗浄することをお勧めします。洗浄には、アセトンやシンナー等が使用できます。O-リングと接触面を清掃するには、ジョイントを分解する必要があります。

### 4. 清掃頻度

必要な清掃頻度は、排気される汚染物質やアームが取り付けられている環境によって異なります。

一般的には、本体部のパイプよりもフード等のパイプとダンパー付きジョイントの方が頻繁に清掃する必要があります。

フードを外してダンパー付関節部を覗いて、汚れをこまめにチェックすることをお勧めします。また、ダンパー付の関節部分を外して清掃する際には、パイプの内部が汚れていないかを確認することをお勧めします。

衛生面での要求が厳しい作業環境に抽出アームが設置されている場合は、清掃手順をシステム化し、計画的に行うことをお勧めします。

### 5. ガススプリング

SDシステム75/100のガススプリングが付いている機種の場合、ガススプリングを外してから関節部分の分解を行ってください。

ガススプリングの取り付け取り外しは、最も力のかからない位置にアームを動かしてから行ってください。

根本側のガススプリングは縮んだ状態、吸込側のガススプリングは伸びた状態が力のかからない状態です。